

# 目次

ページ

## 山梨県文学館協議会資料

<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	2
<u>施設利用状況</u>	3
<u>観覧者数の推移</u>	4
<u>企画展等一覧</u>	6
<u>教育普及事業について</u>	8
<u>資料情報課事業一覧</u>	13
<u>指定管理者活動報告</u>	16

平成30年2月28日(水)

山梨県立文学館

## 山梨県文学館協議会委員名簿

任期：平成29年9月29日～平成31年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野（勤務先等）
委嘱	津久井 豊徳	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 （南アルプス市教育委員会教育委員、連合会会長）
"	渡辺 春美	県社会教育団体代表	社会教育関係 （山梨県社会教育委員、山梨県連合婦人会 副会長）
"	石川 芳子	山梨文芸協会事務局長	学識経験者（山梨文芸協会事務局次長）
"	杉原 克彦	報道関係	学識経験者（山梨日日新聞社 論説委員）
"	水石 和仁	報道関係	学識経験者（テレビ山梨 放送本部・報道制作局長）
"	田中 昌央	報道関係	学識経験者（NHK甲府放送局副局長）
"	長谷川 千秋	山梨大学教授	学識経験者
"	古川 裕佳	都留文科大学教授	学識経験者
"	廣瀬 孝嘉	元山梨県教育長	学識経験者
"	出澤 忠利	印傳博物館 運営委員	学識経験者
"	澤谷 滋子	浅川伯教・巧兄弟資料館館長	学識経験者
"	赤井 美知江	公募委員	家庭教育関係者
"	高橋 恵美子	公募委員	家庭教育関係者
任命	清水 千春	県公立小中学校長会代表	学校教育関係 （中央市立田富中学校長）
"	小俣 岳	県高等学校長協会代表	学校教育関係 （都留高等学校長）

## 山梨県立文学館活動報告（概要）

### 本館に求められるもの

県民の価値観の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがい求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品（資料）を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしむ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

- 平成29年度は、山梨県立文学館のあるべき姿や求められる姿を考究すべく制定された「基本理念」（平成25年4月1日制定）の具体的な実践として、資料収集・整理・保存・公開事業、常設展・企画展などの展示事業、これに併せた様々な教育普及事業、さらに文学の魅力を伝えるための事業を実施した。

### 平成29年度の活動

#### 【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年4回春夏秋冬展示替えに加え、夏秋は「漱石生誕150年記念」企画を開催。

春：推理小説の開拓者 木々高太郎 生誕120年

夏前期：漱石とJ.F.ミレー、夏後期：漱石と橋口五葉（山梨県立美術館出品協力）

秋前期：漱石一手紙の達人、秋後期：漱石と芥川龍之介

冬：小林富司夫 生誕100年

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期（9月まで）小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡

後期（3月まで）詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の特設展〉「歿後50年 山本周五郎展」4月～6月

〈夏の特設展〉「作家のデビュー展」7月～8月

〈秋の企画展〉「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」9～11月

〈新収蔵品展〉「ブンガク玉手箱」1月～3月

#### 【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・初心者/中級者短歌教室・ワークショップ・特設展、企画展（秋）の関連事業・チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学、展示解説・講師派遣・移動文学館・校内文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会（協力会）、

〈第26回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施 H30年3月2日発表、17日表彰式

#### 【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供として

○閲覧室資料紹介＝山本周五郎を読む・山梨に生まれた作家たち・津島佑子の世界・近代文学の挿絵画家たち

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

土橋治重・太宰治・飯田龍太・田中冬二・深沢七郎・奈良枝

○書庫見学 6/10（土） 11/20（日・県民の日） 午前・午後各1回

○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

#### 【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施（毎週日曜日）。

芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

〈共催事業〉第3回碑前祭（山廬文化振興会と共催）歌人の藤岡武雄氏講話・句会

### 平成30年度の活動

#### 【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年4回春夏秋冬展示替えに加え、次のテーマで期間限定公開のコーナーを設置

春：竹中英太郎と竹中労

夏：高浜虚子と山中湖の虚子山荘

秋：熊王徳平

冬：小林一三

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介（朗読コーナー）

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室

第5室 前期（9月まで）小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡

後期（3月まで）詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の特設展〉「生誕120年 井伏鱒二展 旅好き 釣り好き 温泉好き」4月～6月

〈夏の特設展〉「童話の花束 子どもたちへの贈り物」7月～8月

〈秋の企画展〉「草野心平展」9～11月

〈新収蔵品展〉1月～3月

#### 【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・初心者/中級者短歌教室・ワークショップ・特設展、企画展（秋）の関連事業・チャレンジ文学館・夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学、展示解説・講師派遣・移動文学館・校内文学館・教師のための学習会・教育センターと共催の教員対象の研修会、校長会、国語部会への説明、読書会（協力会）、

〈第27回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定

#### 【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供として

○閲覧室資料紹介＝井伏鱒二を読む・みんなで読もう日本の名作・草野心平の世界・

映像になった文学作品 平成をふり返って

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

飯田蛇笏・太宰治・辻邦生・山崎方代・与謝野晶子・中村星湖

○書庫見学 6/9（土） 11/20（火・県民の日） 午前・午後各1回

○レファレンス 利用者からの調査相談対応、コピーサービス対応

#### 【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会による常設展の解説ボランティアを育成、解説の実施（毎週日曜日）。

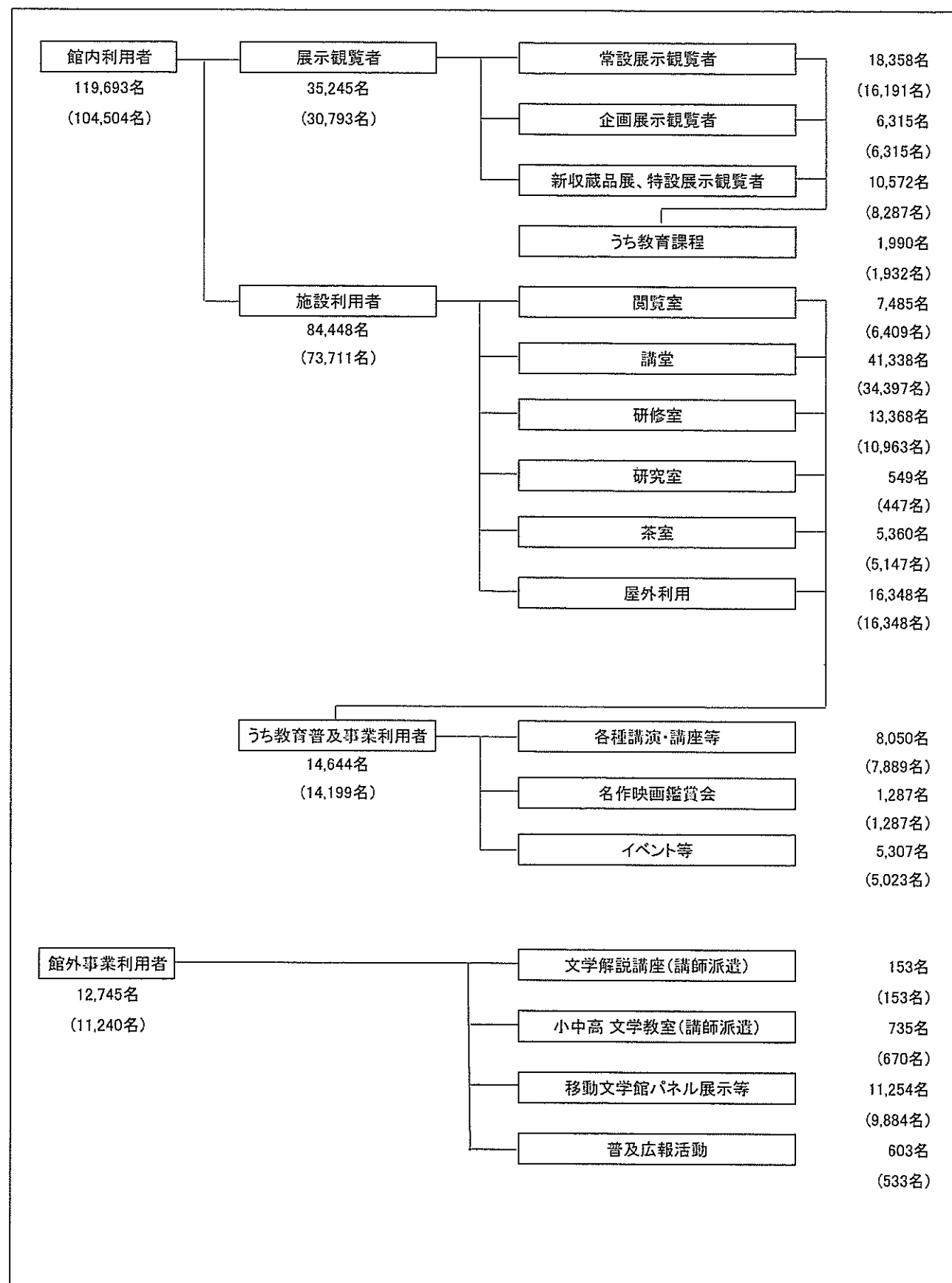
芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

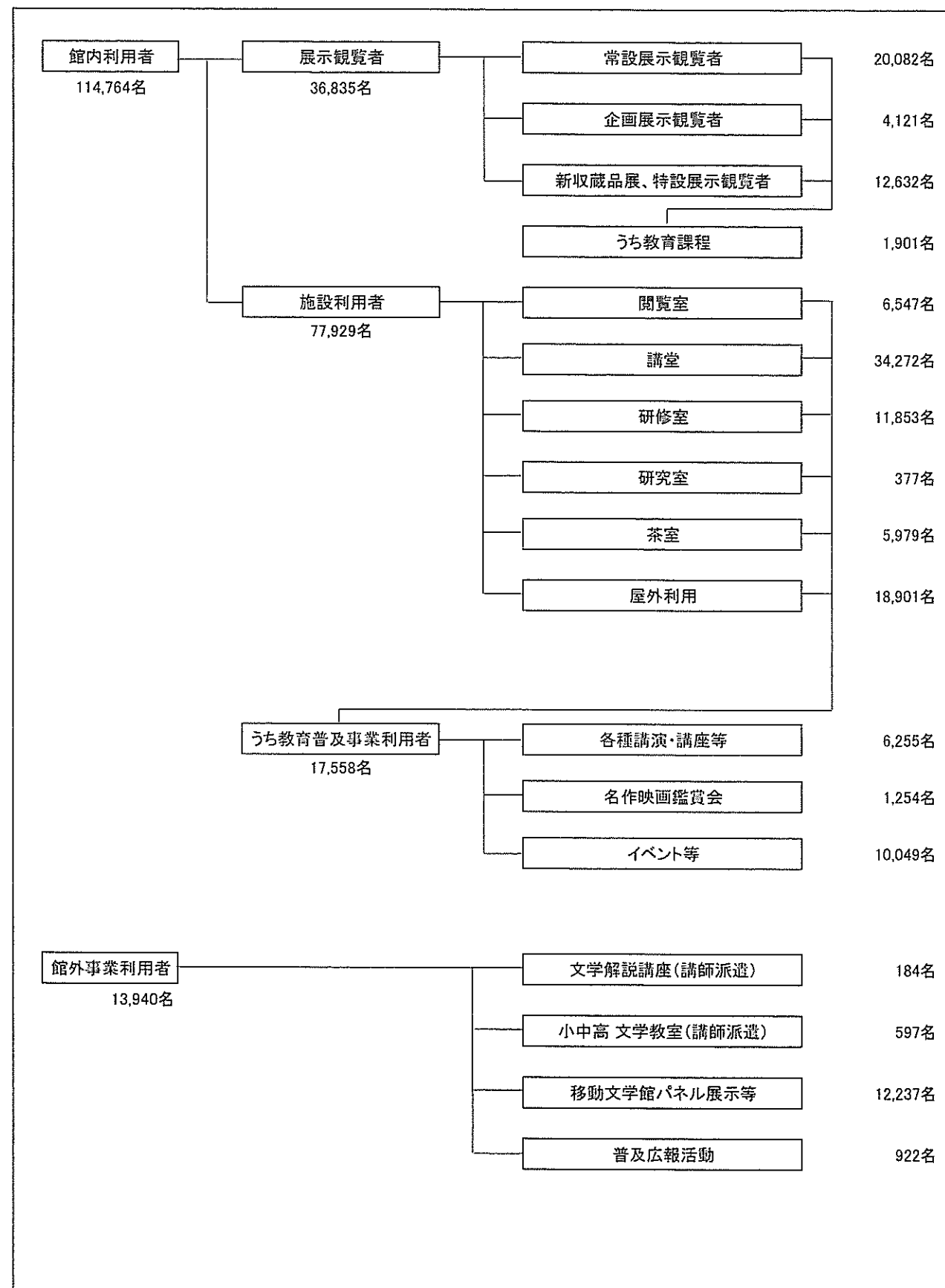
〈共催事業〉第4回碑前祭（山廬文化振興会と共催）

文学館における「利用者」の状況

平成28年度実績。( )内は平成29年1月末現在



平成30年1月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	308	41,209	39,356	80,565
27	310	18,763	4,758	23,521
28	306	18,353	6,315	24,668
29	254	20,082	4,121	24,203
計	8,338	794,955	396,079	1,191,034

平成29年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,089	42
5	27	2,563	95
6	26	1,628	63
7	26	4,132	159
8	29	4,902	169
9	26	925	36
10	26	1,371	53
11	27	2,401	89
12	21	514	24
1	20	557	28
2			
3			
計	254	20,082	79

平成28年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,038	40
5	27	1,719	64
6	26	984	38
7	28	2,264	81
8	28	3,527	126
9	26	1,429	55
10	26	1,787	69
11	26	2,218	85
12	22	598	27
1	20	627	31
2	24	906	38
3	27	1,261	47
計	306	18,358	60

1月 まで	255	16,191	63
----------	-----	--------	----

前年同期比 124.0%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,500,009名

特設展観覧者数 237,884

新収蔵品展観覧者数 71,091

### 企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田晁・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と檀一雄	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
27	俳句百景展	60	4,758	79
28	北杜夫展	59	6,315	107
29	津島佑子展	53	4,121	78
	計	2,845	396,079	139

### 特設展観覧者数

年度	名称	開催日数	観覧者数	一日平均
2	「山梨と高浜虚子」	33	8,785	266
3	「辻嵐外と嵐外十哲」	33	8,996	273
3	「たけくらべの世界」	36	10,378	288
3	「映画と文学」	36	9,814	273
3	「文学者の扇面と年賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」	22	2,327	106
4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
4	「佐野四郎の世界-富士見ゆる丘より」	54	6,650	123
5	「やまなしの自然と文学」	56	6,973	125
5	「五味可都里と蟹守の周辺」	53	8,648	163
5	「芥川龍之介 草稿の世界」	66	8,876	134
5	「野尻抱影 書簡の世界」	51	5,519	108
6	「歌人の手紙」	33	4,220	128
7	「やまなし文学賞の受賞者たち」	44	3,756	85
7	「中村星湖への手紙」	56	3,324	59
8	「『豹・レオパール』の詩人たち 一宮田桐夫資料より」	24	1,861	78
8	「蛇笏山脈の人々 一西島麦南・松村蒼石・榎本虎山」	57	3,629	64
9	「芥川龍之介の草稿」	55	5,932	108
9	「村松定孝氏収集」	32	1,274	40
10	「児童文学-山梨ゆかりの作家群」	50	3,778	76
10	「鳴山草平資料」	23	757	33
11	「山岳関連名著展 一瀬藤太郎コレクションより」	41	4,202	102
12	「脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎」	34	2,019	59
12	「山梨の文芸誌-大正から昭和初期」	42	1,068	25
13	「やまなしの児童文芸 一「赤い鳥」「金の船/金の星」「童話」を中心に」	41	2,086	51
13	「山梨の文芸誌-戦後から現代まで」	41	1,121	27
14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	61
15	山梨の農民文学	38	1,947	51
16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
17	山梨のアラガキ派歌人展 伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に	34	1,393	41
18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	91
21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」-青い瞳の涙-	30	3,027	101
21	収蔵名品展（常設展観覧料で見せた）	44	3,007	68
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	77
23	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
24	フランダーズの犬	33	5,034	153
24	飯田蛇笏展	53	6,553	124
24	至宝展（国文祭関連で常設展観覧料で見せた）	54	3,490	65
25	富士山と文学	63	4,549	72
25	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
26	本のおしゃれ展（特別コーナー村岡花子と柳原白蓮）	34	10,309	303
27	田中冬二展 なつかしい日本の風景	50	3,695	74
27	芥川龍之介の夏休み	41	4,661	114
28	辻 嵐外 甲州の近世俳人	46	2,514	55
28	宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	47	5,367	114
29	歿後50年 山本周五郎展	45	3,920	87
29	作家のデビュー展	44	8,322	189
	計	2,039	237,884	117

平成29年度 企画展・特設展など(実績および予定)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	特設展 歿後50年 山本周五郎展	平成29年 4月29日(土) ～ 6月18日(日)	45日間	3,920人	2017(平成29)年は大月市出身の小説家・山本周五郎歿後50年にあたります。「赤ひげ診療譚」などの江戸庶民の人情ものや、「縦ノ木は残った」など歴史長編を発表して人気を博し、映画化された作品も数多くあります。現在も多くの読者の支持を得ている数少ない作家の一人です。当館で収集した資料を中心に、山本周五郎の生涯と作品を紹介しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催
2	特設展 作家のデビュー展	平成29年 7月15日(土) ～ 8月27日(日)	40日間	8,322人	半井桃水創刊の雑誌に発表された樋口一葉の「闇桜」、発表当時の反響は小さかったものの現在ではほとんどの教科書に掲載されている芥川龍之介の「羅生門」、当時の作家が大きな衝撃を受け前代未聞の出版記念会が行われた深沢七郎の「檜山節考」など、山梨ゆかりの作家のデビュー作やエピソードを館蔵資料により紹介。さらに、現在活躍中の辻村深月(笛吹市)、神永学(南巨摩郡富士川町)などのデビューの頃もとりました。	自主企画 ・常設展の一環として開催
3	企画展 津島佑子展 いのちの声をさかのぼる	平成29年 9月23日(土・祝) ～ 11月23日 (木・祝日)	53日間	4,121人	2016年2月18日に逝去した作家・津島佑子の初の展覧会。作家・太宰治の次女として1947年に生まれ、大学在学中より小説を発表。結婚、出産、離婚、息子の死、母子家庭や障害を持ち夭折した兄のことなど、自身の体験をもとに女性の立場から内面世界に迫る作品を創出しました。「火の山 ― 山猿記」では、母・美知子の実家・石原家をモデルに、甲州を舞台とする三代にわたる一族の人々と時代を壮大なスケールで描き、1998年に谷崎潤一郎賞、野間文芸賞を受賞しました。その後も、少数民族や原発問題へと視野を広げ、重厚な作品世界を展開、多数の作品が海外で翻訳されています。	自主企画
4	新収蔵品展 ブンガク玉手箱 太宰治・田中冬二・辻邦生・野尻抱影 ・山本周五郎ほか	平成30年 1月20日(土) ～ 3月21日(水・祝)	52日間	— 人	平成29年に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。	自主企画 ・観覧料無料で公開

平成30年度 企画展・特設展 展示予定

	展覧会名	会期	日数	内 容	備 考
1	特設展 生誕120年 井伏鱒二展 旅好き 釣り好き 温泉好き	平成30年 4月28日(土) ～ 6月17日(日)	45日間	井伏鱒二(1898～1993 広島県生まれ)の生誕120年を記念して山梨との関わりを中心に展示します。井伏は、「山椒魚」「ジョン万次郎漂流記」「黒い雨」などの作品を執筆し、作家として長きにわたり活躍し、日本文学史に名を残しました。下部温泉、増富ラジウム温泉、疎開した甲府市・岩月家など山梨県内各地に残した足跡や、飯田蛇笏・龍太親子との交流もたどります。	自主企画 ・常設展の一環として開催
2	特設展 童話の花束 子どもたちへの贈り物 (仮称)	平成30年 7月14日(土) ～ 8月26日(日)	38日間	山梨ゆかりの作家の児童文学作品をテーマにした展覧会です。「赤毛のアン」などの翻訳とともに童話作品でも知られる村岡花子、児童文学雑誌「赤い鳥」に「蜘蛛の糸」「杜子春」を発表した芥川龍之介、少年少女向けの歴史本編集に携わった前田晁、「おかあさん童話」として数々の童話作品が親しまれた徳永寿美子、「マスの大旅行」で壮大な冒険譚を描いた太田黒克彦などの作品を紹介します。	自主企画 ・常設展の一環として開催
3	企画展 草野心平展 (仮称)	平成30年 9月22日(土) ～ 11月25日(日)	56日間	詩人・草野心平(1903～1988)は、蛙と富士山を愛した詩人として広く知られています。1928(昭和3)年、第一詩集『第百階級』を刊行、生命力の賛美と庶民の生活感情を蛙に託し、「蛙の詩集」と呼ばれました。1940年、「日本詩壇」に詩「富士」を発表してからは、富士山は生涯にわたってのテーマとなり、『富士山』(1943年)、『富士の全体』(1977年)などで、壮大なスケールの富士を詠い、書や絵画でも富士山の魅力をダイナミックに表現しました。本展では、歿後30年を迎える草野心平の作品と生涯を顕彰します。	自主企画
4	新収蔵品展	平成31年 1月26日(土) ～ 3月24日(日)	50日間	平成30年度に新たに収蔵した直筆資料を紹介します。	自主企画 ・観覧料無料で公開



1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展

企画展 「津島佑子展」 関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
10月14日	講演会「津島文学の魅力」	坂上弘（作家・日本近代文学館理事長）	65
11月5日	講演会「ふたつの世界の接するところ」	堀江敏幸（作家・早稲田大学教授）	140
11月12日	朗読と対談「津島佑子「火の山-山猿記の世界」	朗読 竹下景子（俳優） 対談 川村湊（文芸評論家） 石原燃（劇作家・津島佑子長女）	413
10月1日	「津島佑子作品の場所をめぐる」	中野和子（当館学芸員）	70
合計			688

(2) 特設展

特設展「歿後五十年 山本周五郎展」 関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
5月21日	「書簡に見る周五郎の心情」	保坂雅子（当館学芸課長）	86
合計			86

特設展「作家のデビュー展」 関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
7月30日	辻村深月講演会「フィクションの向こう側」	辻村深月（小説家）	380
8月3日	「太宰治 デビューの頃」	伊藤夏穂（当館学芸員）	78
合計			458

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講 師	事業名・演題	月 日	人 数
長谷川千秋 (山梨大学教授)	年間文学講座1（全8回）講堂 「甲州地誌『裏見寒話』— 甲州の伝説をよむ」  土曜日 14:00~90分	5月27日	130
		6月24日	116
		7月15日	104
		8月12日	87
		9月16日	103
		10月21日	73
		11月25日	79
		12月16日	94
小計			786

牛山 恵(都留文科大学名誉教授)	年間文学講座2（全8回）講堂 「教科書にのった児童文学とその作家たち」  木曜日 14:00~90分	5月11日	130
		6月8日	147
		7月13日	107
		8月10日	100
		9月21日	128
		10月12日	108
		11月16日	103
		12月7日	110
小計			933

保坂雅子 伊藤夏穂 笠井里香 高室有子	年間文学講座3「山梨の文学」	5月21日	86
		8月3日	78
		9月7日	39
		1月25日	45
小計			248
合計			1,967

(2) 教師のための学習会

月 日	題 名	情 報	参加人数
7月27日	特設展 先生のための学習会①		11
	企画展 先生のための学習会②		2
合計			13

## (3) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	2,027
文学の柱	168
企画展チャレンジクイズ	302
特設展チャレンジクイズ	6,990
合計	9,487

## (4) 名作映画観賞会

月日	題名	情報	参加人数
5月14日	椿三十郎	1962年 原作 山本周五郎 監督 黒澤明 出演 三船敏郎 仲代達矢	240
6月10日	青葉城の鬼	1962年 原作 山本周五郎 監督 三隅研次 出演 長谷川一夫 高田美和	324
7月29日	アニメ「チリンの鈴」	1978年 原作 やなせたかし 監督 波多正美	80
8月6日	アニメ「火垂るの墓」	1988年 原作 野坂昭如 監督 高畑勲	126
9月18日	太陽の季節	1956年 原作 石原慎太郎 監督 古川卓巳 出演 石原裕次郎 南田洋子	260
11月20日	伊豆の踊子	1963年 原作 川端康成 監督 西河克己 出演 吉永小百合 高橋英樹	224
合計			1,254

## (5) 朗読講演会

月日	事業名 演題	講師	参加人数
10月28日	太宰と美美子～耳で聴く昭和文学～	華のん企画	170
合計			170

## (6) 文学創作教室

月日	事業名 演題	講師	参加人数
5月13日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
6月3日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
6月17日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」	三枝 浩樹	21
7月9日	一般創作教室 「長野まゆみ講演会」	長野 まゆみ	112
7月9日	高校生創作教室 「長野まゆみ講演会」	長野 まゆみ	30
9月9日	三枝昂之短歌講座	三枝 昂之	44
12月9日	三枝浩樹一般短歌講座	三枝 浩樹	25
12月9日	三枝浩樹高校生短歌講座	三枝 浩樹	15
合計			289

## (7) ワークショップ

月日	事業名 演題	講師	参加人数
6月4日	ペーパークイリングで風鈴を飾ろう	佐々木 綾子	21
7月2日	デコパージュで「赤毛のアン」を身近に	小林 睦美	28
7月25日	大人も楽しい伝統芸能～能の世界～	佐久間 二郎	50
8月5日	レザークラフトでプレスレットを作ってみよう	近藤 和郎	33
7月17日	夏休み自由研究プロジェクト		256
1月7日	百人一首教室	清水 章子	40
合計			428

## (8) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月日	学校名	情報	参加人数
8月2日	中央高校		1
8月3日	甲府城西高校		3
8月6日	甲府西高校		6
合計			10

## (9) 学芸員実習

月日	学校名	情報	参加人数
合計			0

## (10) 文学解説(展示解説、視察対応)

月日	対象名・講座名等	対象者	参加人数
4月8日	都留文科大文学部国文学科オリエンテーション	都留文科大文学部学生	161
7月28日	英和中高文芸部	英和中高文芸部	14
8月4日	中巨摩地区国語科研究会	中巨摩地区小中国語科教員	33
8月17日	吉田地区国語研究会	吉田地区小中国語科教員	6
8月18日	甲府地区教育協議会図書館教育部会	甲府地区小中学校図書館司書及び司書教諭等	75
8月18日	富竹中学校区3校研究会	富竹地区小中教員	60
8月22日	甲府市小中学校図書館司書部会	甲府市内小中図書館司書等	42
8月23日	楡形中学校美術・文芸部	楡形中学校美術・文芸部	23
10月21日	甲府東高校文芸部	甲府東高校文芸部	5
10月22日	甲州市市民講座	甲州市市民講座受講生	6
12月9日	山梨県読書感想文コンクール表彰式	読書感想文コンクール入賞者	55
12月12日	法政大学大学院	法政大学大学院生	18
合計			253

## (11) 山梨の文学解説講座(他会場への講師派遣事業)

月日	講座名	対象者	参加人数
5月29日	山梨県文化協会連合会研修会講座	文化協会等	80
6月18日	ことぶき勸学院 南都留教室	ことぶき勸学院	12
8月26日	山梨大学国語国文学会	山梨大学国語国文学会会員	35
1月26日	甲州市市民講座	甲州市市民講座聴講生	26
1月28日	甲府城下町を語る会講座	甲府城下町を語る会	32
合計			185

## (12) 小・中・高等学校文学教室 (出前授業)

月日	学校名 (内容)	対象者	参加人数
6月7日	中央高校 (俳句)	中央高1年生	130
6月15日	浅川中学校 (短歌)	浅川中3年生	131
8月10日	増穂中学校 (展示方法)	増穂中図書委員	23
8月30日	増穂中学校 (展示方法)	増穂中図書委員	23
9月20日	放課後わくわく長坂教室 (俳句)	長坂小児童	73
10月11日	放課後わくわく大泉教室 (俳句)	大泉小児童	62
11月6日	放課後わくわく小淵沢教室 (俳句)	小淵沢小児童	50
11月7日	早川北小 (宮沢賢治)	早川北小児童	10
11月29日	万沢小 (宮沢賢治)	万沢小児童	15
合計			517

## (13) 小・中・高等学校教育課程対応 (展示解説)

月日	内 容	対象者	参加人数
4月13日	校外学習	増穂中学校	5
4月20日	校外学習	高根中学校	10
4月21日	校外学習	丹波中学校	4
4月26日	校外学習	市川中学校	11
5月9日	校外学習	明野中学校	4
5月9日	校外学習	長坂中学校	15
5月10日	校外学習	山中湖中学校	3
5月10日	校外学習	身延中学校	3
5月11日	校外学習	葦崎西中学校	6
5月11日	校外学習	葦崎東中学校	4
5月12日	校外学習	白根勅使中学校	2
5月12日	校外学習	小淵沢中学校	7
5月12日	校外学習	普進学園高等学校	134
5月16日	校外学習	榊形中学校	11
5月17日	校外学習	早稲田高等学院	88
5月17日	校外学習	八田中学校	7
5月17日	校外学習	双葉中学校	3
5月18日	校外学習	上野原中学校	26
5月18日	校外学習	田富中学校	6
5月19日	校外学習	押原中学校	21
5月19日	校外学習	敷島中学校	5
5月19日	校外学習	泉中学校	5
5月19日	校外学習	甲府城西高校	124
5月23日	校外学習	東桂中	5
5月25日	校外学習	新田小3・4年生	53
5月26日	校外学習	甲府城西高校	127
6月9日	校外学習	葦崎こすもす教室	9
6月9日	校外学習	甲斐清和高校通信制	59
6月13日	校外学習	大月東中	5
7月12日	校外学習	塩山高校	148
7月14日	校外学習	新田小5・6年生	56
9月9日	校外学習	駿台甲府高校	197
10月24日	校外学習	北杜高校	2
11月14日	校外学習	昭和高校	89
11月15日	校外学習	昭和高校	90
11月16日	校外学習	昭和高校	89
11月22日	校外学習	学院小	76
11月24日	校外学習	新田小5・6年	51
11月30日	校外学習	新田小3・4年	56
12月1日	校外学習	新田小特別支援学級	12
合計			1,628

## (14) 小・中・高等学校移動文学館 (アウトリーチ)

月日	利用学校名	セット	対象人数
5月9日	中央高等学校	C	433
5月23日	甲府東中学校	A	642
5月23日	城南中学校	A	813
5月30日	中央高等学校	B	433
6月9日	境川小学校	D	211
6月27日	西原小学校	D	15
6月28日	浅川中学校	B	372
6月30日	中央高等学校	D	433
7月4日	御坂西小学校	C	531
7月5日	山梨北中学校	A	425
9月6日	榊形中学校	C	611
9月14日	押原中学校	C	538
9月15日	須玉中学校	A・B	139
9月27日	榊形中学校	A	611
9月29日	田富中学校	D	476
10月6日	泉中学校	A・B	96
10月11日	御坂中学校	D	325
10月13日	山中湖中学校	D	134
10月17日	上野原高校	A	485
10月26日	富竹中学校	A	274
10月27日	竜王西小学校	D	335
10月27日	中央高等学校	E	433
11月2日	白根飯野小学校	C	262
11月7日	早川北小学校	D	14
11月14日	一宮中学校	E	296
11月22日	東桂中学校	D	206
11月28日	増穂中学校	E	306
11月29日	万沢小学校	D	31
12月14日	甲府東中学校	E	599
12月21日	栄小学校	D	59
1月5日	北杜高等学校	E	682
1月25日	山梨高等学校	E	560
合計			11,780

利用教材 A:石川啄木セット B:龍太・蛇笏のちまちな人形セット C:花子とアン  
D:賢治と嘉内の友情セット E:文豪ストレイドッグスセット

## (15) 外部共催研修

月日	企画名	対象者	利用人数
7月25日	総合教育センターとの共催研修	小中学校教員	10
11月10日	小中学校初任者研修	小中学校初任者研修	38
合計			48

## (16) 各種団体への普及活動

月日	普及内容	対象者	利用人数
5月12日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	中巨摩支部校長会	50
5月16日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	甲府支部校長会	36
5月16日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	東山梨支部校長会	29
5月18日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	峡南地区校長会	28
5月18日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	山梨県学校図書館教育研究会	272
5月23日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	北都留地区校長会	19
5月30日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	高等学校国語部会	45
6月1日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	笛吹支部校長会	19
6月2日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	南都留支部校長会	43
7月6日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	北巨摩地区校長会	27
7月6日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	下都賀教育委員会	30
8月26日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	山梨大学国語国文学会	35
10月13日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	高等学校国語部会	40
10月29日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	山梨県教育研究集会	30
1月30日	山梨県立文学館の展示及び普及活動等	甲府市教育協議会国語科部会	84
合計			787

## (17) 協力会読書会

月日	作品	対象者	利用人数
5月7日	山本周五郎「あんちゃん」		8
6月11日	太宰治「晩年」		6
7月9日	芥川龍之介「羅生門・鼻」		6
8月6日	夏目漱石「吾輩は猫である」		6
9月10日	大山ちこ「エンディングノート」		10
10月8日	津島佑子「山を走る女」		7
11月12日	三島由紀夫「春の雪」		10
12月10日	辻村深月「ツナグ」		8
1月21日	司馬遼太郎「歴史と視点」		7
2月18日	山田詠美「放課後の音符」		
3月11日	芥川賞受賞作2作(第157回&158回)		
合計			68

## 3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して、山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助とするために制定された。小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘・佐伯一麦・長野まゆみ

研究・評論部門：中島国彦・関川夏央・兵藤裕己

小説部門応募者数……………313

研究・評論部門応募者数…109

合計 422

29年11月30日：作品締め切り

30年 2月15日：研究・評論部門選考会

2月20日：小説部門選考会

3月17日：表彰式

6月：小説部門受賞作単行本刊行

平成30年度実施予定教育普及事業の概要

事業名	事業説明
年間文学講座	年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう調整する。多くの方が参加できるように、平日のみならず、土・日も開講する。
山梨の文学講座	「山梨の文学講座」は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施し、当館学芸員が講師を務める。
名作映画鑑賞会	有名な文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて、多くの県民とともに考える企画。平成2年から毎年実施。
朗読鑑賞会	県内外から講師を招聘し、文学作品(詩・小説など)の魅力を朗読によって鑑賞する企画。開館の年から実施し、毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。
山梨の文学解説講座	学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座。要望に応じ当館の研修室・講堂等あるいは市町村等に出向いて講義をする。
博学連携事業	将来の山梨を担うことになる子どもたちに、優れた文学と文学者の存在に気付かせるきっかけを作ることを目的に、学校教育と連携し、文学館作成の指導資料を学校に貸し出す「アウトリーチ」、「出前授業」、校外学習へのサポート、高校生を対象とした「文学創作教室」等を実施する。
就業体験(インターンシップ)	子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが、今日的課題となっている。文学館としても、中学生・高校生・大学生の職場見学やインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。
教師のための学習会開催	県内の小・中・高校・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、学校教育への活用を図る。
子どもワークショップ	子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じてもらう機会とする。各界で活躍する専門家を招くことで、子どもたちの多彩な分野での興味を広げていく。

平成29年度 資料情報課事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が資料を直接手に取って利用できる機会を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<p><b>山本周五郎を読む</b> 特設展「歿後50年 山本周五郎展」に合わせて、「縦の木は残った」「山彦乙女」などの著作や研究書を紹介します。</p>	平成29年4月29日(土) ～ 6月18日(日)
<p><b>山梨に生まれた作家たち</b> 林真理子、辻村深月、神永学など、山梨で生まれ育ち、現在精力的に執筆活動を行っている作家を取り上げる。映画化・ドラマ化などで話題となった小説や文学賞受賞作などを紹介する。</p>	平成29年7月15日(土) ～ 8月27日(日)
<p><b>津島佑子の世界</b> 企画展「津島佑子展 いのちの声をさかのぼる」に合わせて、母方の系譜を追った長編小説「火の山ー山猿記」などの著作や父・太宰治の関連資料を紹介する。</p>	平成29年9月22日(金) ～ 11月23日(木)
<p><b>近代文学の挿絵画家たち</b> 創意を凝らした本の装幀や挿絵は、文章とともに本を読む楽しみのひとつである。近代文学の装幀と挿絵に注目して、橋口五葉、小穴隆一などを取り上げて紹介する。</p>	平成30年2月10日(土) ～ 4月8日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
土橋治重(4月25日生まれ)	平成29年4月14日(金)～4月27日(木)
太宰 治(6月19日生まれ)	平成29年6月9日(金)～6月22日(木)
飯田龍太(7月10日生まれ)	平成29年6月30日(金)～7月13日(木)
田中冬二(10月13日生まれ)	平成29年10月6日(金)～10月19日(木)
深沢七郎(1月29日生まれ)	平成30年1月24日(水)～2月8日(木)
李 良枝(3月15日生まれ)	平成30年3月9日(金)～3月25日(日)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成29年 6月10日(土) 参加者：39名  
第2回 同 11月20日(月) 県民の日 参加者：40名  
午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(H30.1.31現在)

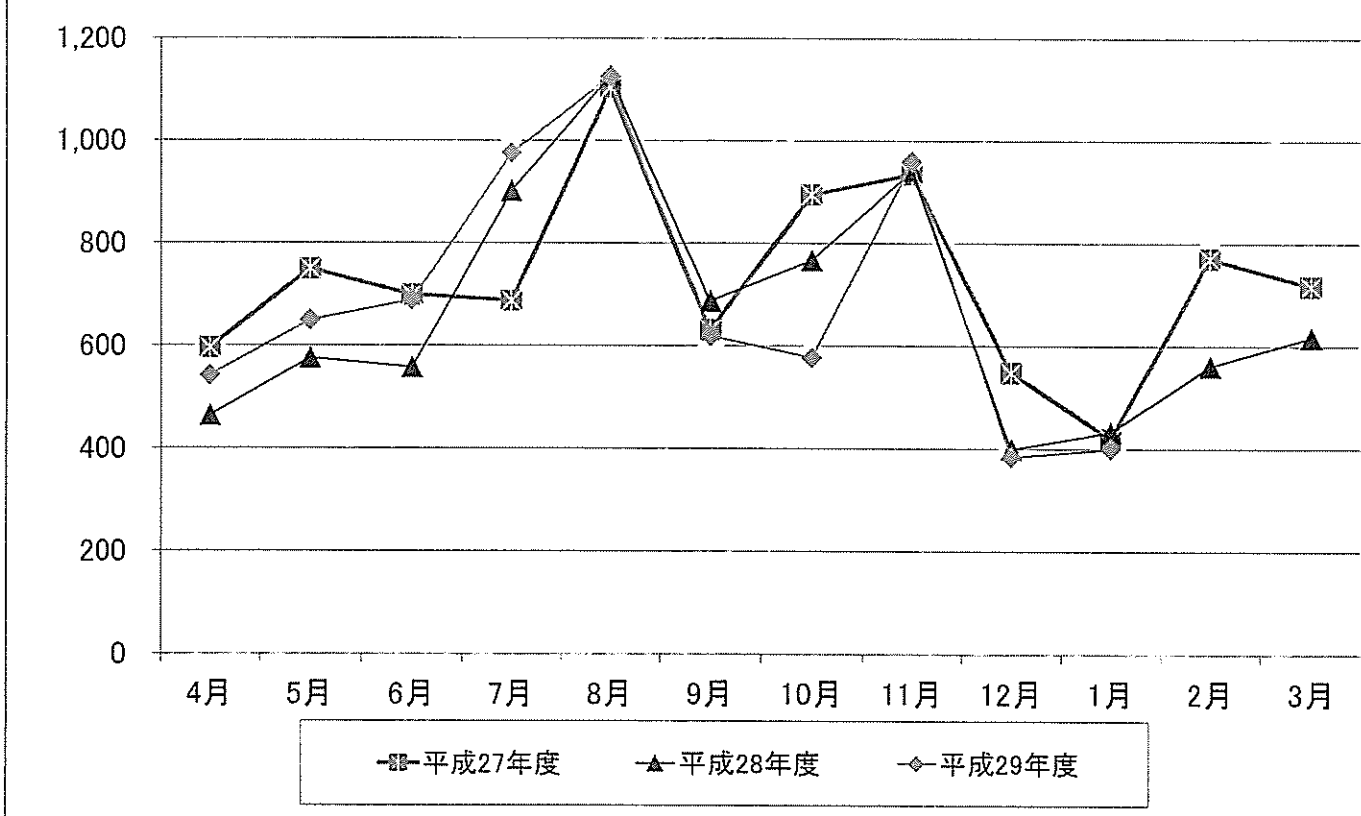
	開館 日数	入室者	閲覧 カード 発行数	閲覧者数	閲覧 冊数	調査 相談	電子式 複写 枚数	マイク ロ 複写 枚数	画像 検索 回数	資料 紹介 冊数
平成27年度	310	8,754	116	450	2,107	406	5,132	0	2,012	660
平成28年度	306	8,034	95	425	1,692	342	2,944	0	1,881	919
平成29年度	254	6,924	97	376	1,689	676	2,885	0	1,473	422

閲覧室入室者(月別)

単位:人(H30.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均 入室者数
平成27年度	596	750	699	688	1,104	631	895	935	548	420	771	717	8,754	28
平成28年度	464	576	558	902	1,128	687	767	942	399	433	561	617	8,034	26
平成29年度	542	650	689	976	1,126	620	577	960	384	400			6,924	27

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件(H30.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成27年度	31	51	27	34	26	38	35	53	33	13	28	37	406	1
平成28年度	25	42	23	39	34	26	20	20	26	18	27	42	342	1
平成29年度	40	63	119	54	76	76	73	73	38	64			676	3

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚(H30.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成27年度	168	645	854	1,096	118	600	394	151	675	147	177	107	5,132	16
平成28年度	28	594	258	452	137	301	228	244	243	78	39	342	2,944	10
平成29年度	224	222	400	364	745	441	145	106	18	220			2,885	11

平成30年度 資料情報課事業計画(案)

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が資料を直接手に取って利用できる機会を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
<p><b>井伏鱒二を読む</b>                      特設展「生誕120年 井伏鱒二展(仮称)」に合わせて、代表作『黒い雨』『本日休診』や山梨を舞台にした『岳麓点描』などの著作や研究書を紹介する。</p>	平成30年4月28日(土) ~ 6月17日(日)
<p><b>みんなで読もう日本の名作</b>                      特設展「童話の花束 子どもたちへの贈り物(仮称)」に合わせて、復刻シリーズを中心に『風の又三郎』、『一房の葡萄』、『くもの糸』など、子ども向けに書かれた名作の数々を紹介する。</p>	平成30年7月14日(土) ~ 8月26日(日)
<p><b>草野心平の世界</b>                      企画展「草野心平展(仮称)」に合わせて、草野心平の著作と詩誌「歷程」をめぐる詩人の作品など関連資料を紹介する。</p>	平成30年9月21日(金) ~ 11月23日(金・祝)
<p><b>映像になった文学作品 平成をふり返って</b>                      『太陽の坐る場所』(辻村深月)や『白磁の人』(江宮隆之)など平成の時代に映像化され、話題になった文学作品や映画関連記事などを紹介する。</p>	平成31年2月8日(金) ~ 4月7日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田蛇笏(4月26日生まれ)	平成30年4月20日(金)~5月10日(木)
太宰 治(6月19日生まれ)	平成30年6月8日(金)~6月28日(木)
辻邦生(9月24日生まれ)	平成30年9月7日(金)~9月27日(木)
山崎方代(11月1日生まれ)	平成30年10月26日(金)~11月15日(木)
与謝野晶子(12月7日生まれ)	平成30年11月30日(金)~12月20日(木)
中村星湖(2月11日生まれ)	平成31年2月1日(金)~2月21日(木)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成30年 6月 9日(土)

第2回 同 11月20日(火) 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など



# 平成29年度 下半期文学館協議会

山梨県立文学館指定管理者  
株式会社SPSやまなし

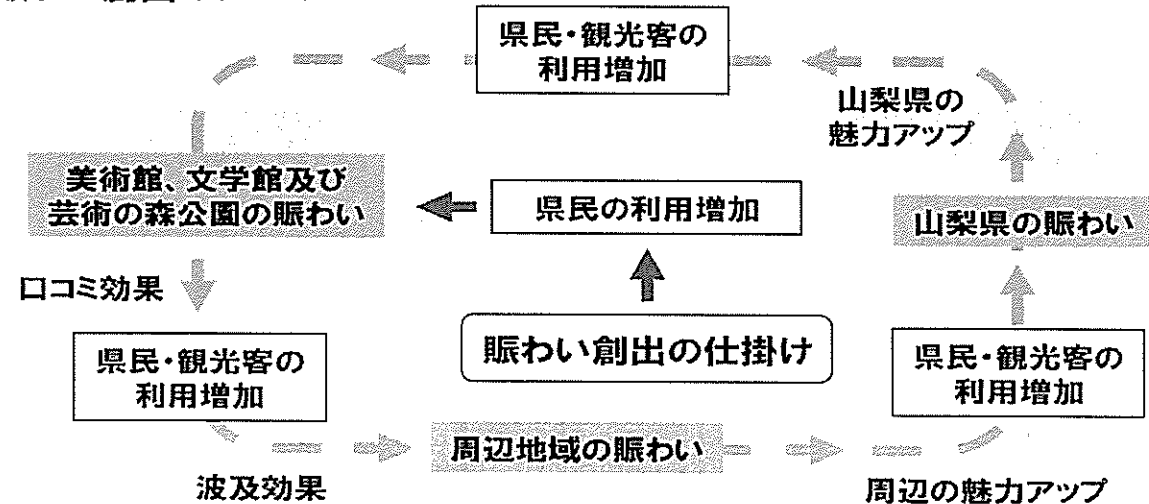
## 目次

1. 2期目の指定管理期間における目指す姿
2. 賑わいの創出
  - ・ 展覧会観覧誘致のための広報活動
  - ・ 関係各所との連携
  - ・ 広報イベントの開催
3. ホスピタリティデザインの構築
  - ・ 研修/インバウンド活動及び館内避難訓練
4. H30年度予定している活動

### 美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設

#### 賑わい創出のプロセス



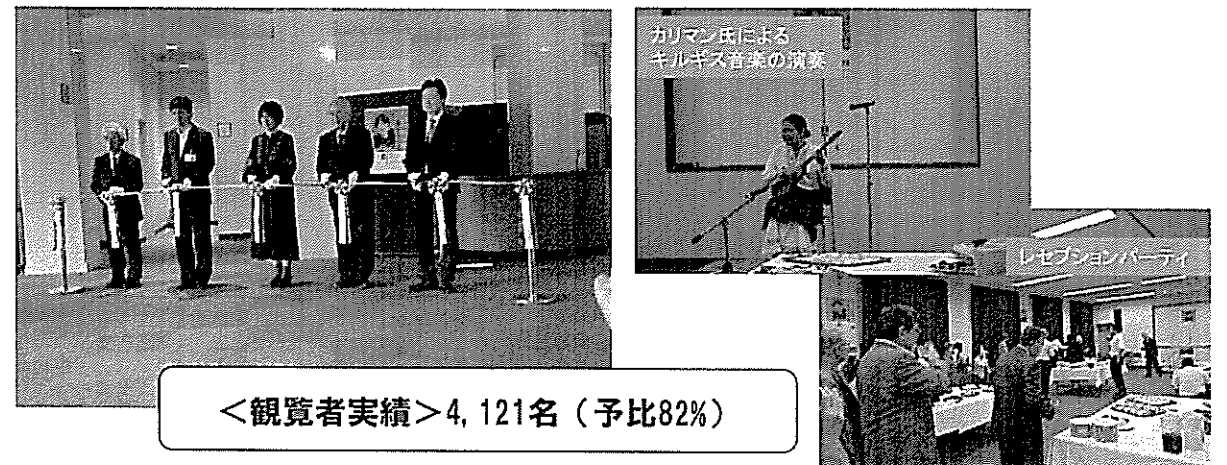
### 指定管理者活動トピックス

#### 【2-1】展覧会観覧誘致のための広報活動

##### 企画展「津島佑子展」

2017年9月23日(土・祝)～11月23日(木・祝)

長女の津島香以氏をお迎えしてのオープニングセレモニーとレセプションパーティーを開催。当日はカリマン氏によるキルギス音楽の演奏で招待客をお迎えした(参加人数:約80名)。期間中、観覧につなげるべく広報活動を展開した。

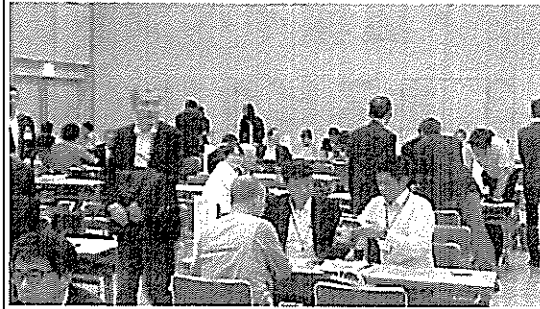
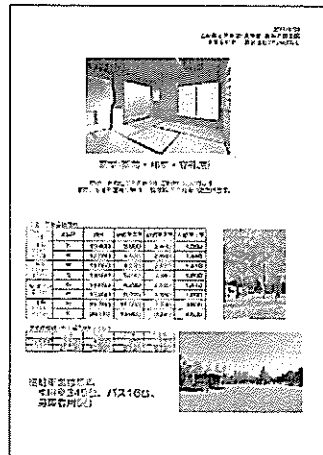
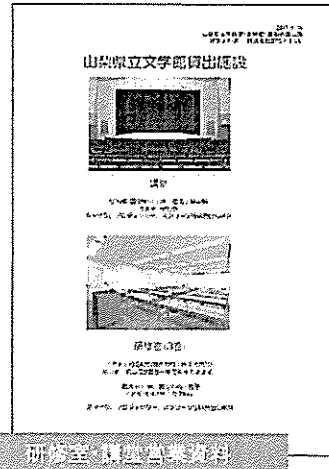


<観覧者実績> 4,121名 (予比82%)

## 指定管理者活動トピックス 【2-2】関係各所との連携

広報活動：山梨県観光商談会(9/15)へ参加

やまなし観光推進機構主催の商談会において、JTB、農協など18社の旅行会社と商談を行い、施設の周知およびツアー企画の提案を行った。企業の研修旅行としてのニーズをつかみ、今回から文学館の研修室の利用も提案した。



商談風景

## 指定管理者活動トピックス 【2-3】広報イベントの開催

芸術の森茶会(9/30、10/21、11/3)  
県民の日茶会(11/20)、初釜(1/7)  
外国人向け呈茶(9/30)

各流派等の協力のもと開催している「芸術の森公園茶会」。毎回定員を超える参加がある。本格的な茶室設備のアピールとともに、お手前体験等、茶道文化にも触れるきっかけとしている。今期は初めて外国人向けにも実施した。



参加人数  
(9/30) 約134名  
(10/21) 約150名  
(11/3) 約150名  
(11/20) 約500名  
(1/7) 約250名

(9/30)外国人向け呈茶  
留学生・定住者 16名 ※取材あり



## 指定管理者活動トピックス 【2-4】広報イベントの開催

●販わいの創出：芸術の森公園秋季アートツアー(9月～11月)

今年度からの新たな試みとして、彫刻だけでなく、文学碑、日本庭園、茶室の魅力を紹介する特別コースを秋季に企画実施した。アンケートからも多くのお客様に庭園や茶室を楽しんでいただけたことがわかった。



飯田蛇笏・龍太文学碑解説



日本庭園散策

秋季アートツアー参加者：272名  
年間参加者(春・秋)計：592名

## 指定管理者活動トピックス 【2-5】広報イベントの開催

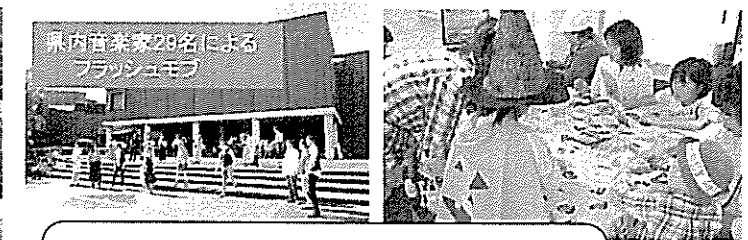
●販わいの創出：芸術の森公園「ミュゼ マルシェ」(10/7,8)

3回目となる本年は、出店舗総数を110店に増やし、県内クリエイターが集結。文学館・美術館の雰囲気に対応しく「おしゃれ感」あるマルシェとして定着している。両館でハロウィン仮面作りのワークショップや展示室を巡るシールラリーを実施し、両館の販わいに繋げた。



<出店舗総数>  
110店(前年85店)

<2日間の入場者>  
13,400名(前年比120%)



<イベント参加者>  
・ワークショップ(文学館) 95名  
・シールラリー 256名

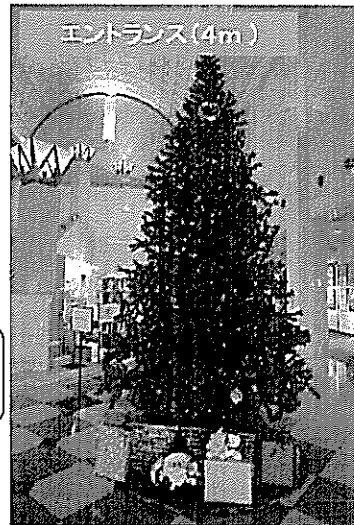
<観覧者人数(のべ2日間)>  
・文学館 常設展 297名  
・文学館 企画展 301名



## 指定管理者活動トピックス 【2-6】広報イベントの開催

### ●賑わいの創出:クリスマス装飾で来館者誘致(12/1~24)

閑散期である12月の来館者誘致として、館内にツリーと屋外にイルミネーションを設置した。今年は看視スタッフ制作によるステンドグラスも展示。ワークショップはクリスマス飾りをモールで作成し、文学館らしさと施設全体の賑わいを演出した。



<参加人数>  
ワークショップのべ126名

## 指定管理者活動トピックス 【2-7】広報イベントの開催

### ●賑わいの創出:県民の日イベントの開催(11/20)

県民の日が月曜日のため、県内のお子様と祖父母をターゲットとし、保育園、児童館など100施設3,000枚へ告知チラシを配布した。「エコバッグづくり」「的あてゲーム」や毎年好評の「茶会」「アートツアー」を実施。両館をまわるスタンプラリーも好評で多数の来場があった。



参加人数:のべ8,412名  
・文学館 常設展 927名  
・文学館 企画展 902名

## 指定管理者活動トピックス 【2-8】広報イベントの開催

### ●賑わいの創出:ヴァンフォーレ甲府スペシャルイベント開催(2/3)

地域連携の取り組みとしてヴァンフォーレ甲府副社長兼ゼネラルマネージャーの佐久間悟氏の講演会を企画開催した。〇×クイズ大会、応援メッセージ記入コーナー、マスコットキャラクターとの撮影会等、昨年に続き盛り上がった。展示室観覧者には限定オリジナル缶バッジをプレゼントするなど来館者アップにつなげた。



参加人数:約305名  
・文学館 常設展 29名  
・文学館 新収蔵品展 76名

## 指定管理者活動トピックス 【3-1】ホスピタリティデザインの構築

### ●スタッフ全体研修(9/25、12/11)

休館日に行うスタッフ全体研修では、お客様とスタッフの安全を守り、防災意識を高めるために、避難訓練や地震体験、車いす操作方法や高齢者疑似体験等を行った。また、インバウンド活動として初めて中国語と韓国語の挨拶を取り入れた。これらを通してチームワーク強化にもつなげていく。



チームワーク研修の様子



高齢者疑似体験と地震体験



指定管理者活動トピックス

【5】H30年度に予定している活動

インバウンド対応 外国人向け茶会	Musee Marche (ミュゼ マルシェ)
芸術の森公園 アートツアー	ヴァンフォーレ甲府 合同イベント
県民の日の イベント	館外ワークショップ
展覧会と関連付けた活動、賑わいの創出に繋がる 活動を実施していく	